

別紙消防局救急課との談話内容

救急司令から「救急車を運転する立場で考えると、南側から乗り入れることは望ましくない。」というお言葉を頂戴致し、安堵致しました。

理由をお聴きすると、

①大阪市南部から救急車が来る場合、なにわ筋にグリーンベルトがあり右折で南側6m市道に進入できず、中之島通りとなにわ筋の交差点で、Uターンして、南側道路に向かう必要がある。この交差点の北側に玉江橋があり、北方向から進入する車両からUターンする救急車が見えづらく、事故が発生する可能性がある。

②南側道路の幅は6mで、路上駐車車両がある場合、通行できる幅が狭く、運転に相当の注意が必要になる。また、予期しない子供・老人等の飛び出しを警告する為にサイレンを鳴らす必要が高くなる。

この通りにはN4タワー以外に3棟のマンションがあり、サイレンを鳴らす救急車への苦情が考えられるので、できるだけ避けたい。

③大阪市内だけでなく、大阪府下から救急車が来ることも考えられるが、中之島に土地勘を持たない救急隊員が、この病院に向かうとき、なにわ筋から南側道路を見つける必要がある動線よりも、中之島通のような幹線道路から直接病院に乗り入れられることが望ましい。

このような、ご意見を頂戴しました。

我々住民にとって朗報と考えております。

その他のお話として、

①病院敷地内で、救急車が右左折を繰り返すことになるが致し方ない。

②これまでに救急車の進入経路についてご相談頂いた記憶はない。

③もし、事業者や建設会社から、救急車の進入路について相談があれば、中之島通りからの乗り入れを提案したい。

以 上